

学習課題(小学校4年生)



【国語】

〈学習内容〉

◆「^{とう}伝統工芸のよさを伝えよう」を学習します。

(1) 教科書⑤53～57 ページを読み、学習の見通しをもちましょう。



前回の「世界にほこる和紙」の学習を生かして、^{とう}伝統工芸のよさについて調べ、理由や例とともに、リーフレットにまとめます。書写の教科書24～25ページを見て、どんなリーフレットにしたいかをイメージしましょう。文字の大きさや配列にも目を向け、見やすいリーフレットにできるとよいですね。

(2) 教科書⑤52 ページの、「百科事典での調べ方」を読みます。

※^{とう}伝統工芸について調べるときにも、役立つかもしれません。

(3) 調べたい^{とう}伝統工芸を決めます。決まったら、本やインターネット、百科事典などを使ってくわしく調べ、分かったことをノートや取組シートにまとめましょう。

※社会科の教科書⑤152～159 ページにも、^{とう}伝統工芸について書かれています。本やインターネットで情報を集めるのが難しい場合、資料として活用することも可能です。

(4) 調べた^{とう}伝統工芸のよさや^{みりよく}魅力を説明する文章を、リーフレットの2ページ目と3ページ目にのせます。分かりやすい説明にするために、文章の組み立てを考えてノートや取組シートに書きましょう。また、写真や絵をどのように使うかも考えましょう。

このようにまとめる
と、相手に伝わりやす
い文章になりますね。



終わり	中	初め
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">みりよく②</div> <p>「美しさ」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先にもようを決め、糸をそめてから、おる。(写真③) ・細かいきかがくもよう。(写真④) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">みりよく①</div> <p>「使いやすさ」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆるみにくく、ほどきやすい。(写真①) ・着物の帯に使われる。(写真②) ・ぶしが刀を差すときの帯にした。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博多おりの説明</div> <p>博多おりに、さまざまなみりよくがある。</p>

【組み立ての例】

(5) (4)で考えた組み立てにそって、説明する文章を書きます。読み手によりよく伝わるよう、理由や例と、伝えたいこととの関わりをはっきりさせて、書きましょう。（まずは、ノートなどに下書きをします。）

(6) 文章が書けたら、次のことに取り組んでみましょう。

① 分かりにくいところや間違えているところがないかをたしかめ、清書しましょう。必要に応じてイラストを描いたり写真を貼ったりしましょう。

② 参考にした本などを、出典として文章の終わりにまとめて書きましょう。

※出典については、教科書①64 ページにくわしく書いてあります。書き方などを参考にしましょう。

(7) 表紙やうら表紙を作り、リーフレットを完成させます。完成したリーフレットは、おうちの人に読んでもらいましょう。

学習のヒント

①文章を書いた後に、このように見直すことは、とても大切なことです。

②イラストや写真があることでどんなよさがあると思いますか？



◆教科書①68～83 ページで学習する漢字（残～共まで）をノートに練習します。（読み方や書き順は、教科書①158～159 ページにのっています。）

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「伝統工芸のよさを伝えよう」では、前回学習した「世界にほこる和紙」を参考に、自ら選んだ伝統工芸について詳しく調べ、リーフレットにまとめます。
- ・リーフレット用に、紙を1枚ご準備ください。（A3やB4サイズが扱いやすいです。A4サイズの内紙を2枚貼り合わせたり、画用紙を台紙にして別紙にかいた文章や絵、写真などを切り貼りし、完成させることもできます。）
- ・伝統工芸について調べる際に、本や百科事典、インターネットを活用することになります。お子さんとご相談の上、可能な範囲でのサポートをお願いいたします。
- ・完成したリーフレットをお読みいただき、お子さんの頑張りを感想としてお伝えいただくと意欲につながります。